

【熊本 SJCD 例会 抄録】

演 題 診査・診断を兼ねた総義歯作製法

演者名 元島道信

日付 2014年2月25日

keywords

1. 総義歯
2. 診査・診断
3. SHILLA SYSTEM
4. ブレード臼歯

義歯の作製において最も重要なことは、患者が義歯を受容しうるかを明確に診断することと考える。義歯作製行程に入ってから途中で作製上の問題が出てくるといったトラブルを起こさないためにも、綿密な診査・診断が必要となる。

阿部晴彦先生は著書やコースで、診断から作製への行程がスムーズに連携できるシステムティックな診査診断法を提示されている。

しかしながら、阿部先生と私では実力も環境も異なるため、現在の自分に出来る範囲で、無歯顎症例に対して阿部晴彦先生考案のSHILLA SYSTEMを用いて、診査・診断から総義歯作製を行った。

今回の症例は、顎堤が好条件であったためか、粘膜面の改善、咀嚼効率の向上、適正な顎位による顔面表情筋のバランス、審美的改善等、良好な結果が得られたと感じているが、診査・診断、製作過程等を先生方にご指摘頂き、次回の診療につなげていければと思っております。